

# 教科「国語」シラバス

## 1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(教科名) 国語  (科目) 論理国語	3単位	高3《必修》	【教科書】『精選 論理国語』明治書院（117明治論国709） 『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』Z会 『入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 三訂版』い いずな書店 『現代文単語 改訂版』いいずな書店
学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次の「論理国語」の授業内容を、より発展・深化させる。入試に頻出する現代的なテーマを扱った評論を読み、論理的・科学的な見方や考え方を養う。また、文学的な文章を深く読み込み、主題・構成・心情などを的確にとらえる。以上を他者との関わりを通して深めていく中で、思考力や表現力を伸ばす。【知】【思】【主】</li> <li>・年度後半は、大学入試過去問題・予想問題（記述式・選択式 ※図表等の資料や複数テキストの読み取り・比較検討も含む）を扱った演習形式の授業を行ない、総合的読解力や応用力を養う。【思】</li> <li>・漢字・語句、文学史の知識を、入試過去問題に触れながらより確実なものにする。【知】</li> <li>・希望進路を見据えて目標を設定し、授業を有効活用しながら主体的に自らの課題に取り組む。【主】</li> </ul>		
評価の観点	《知識・技能》実社会に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる語彙力・文章力を身に付け伸ばし、大学入学に求められる水準まで到達しているか。漢字テスト、定期考査で判断。		
	《思考力・判断力・表現力》「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者に分かりやすく伝えることを前提として、的確な言葉で表現できているか。定期考査、提出物の取り組み方・完成度で判断。		
	《主体的に学習に取り組むたいど》言葉が持つ意味や価値への認識を深めると共に、読書に親しみ言語感覚を磨き自己を向上させ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりできているか。授業態度、提出物、自己評価シートなどで判断。		

### 【定期考査における観点別評価について】

年間4回の定期考査において、各回とも問題ごとに《知識・技能》《思考力・判断力・表現力》《主体性・多様性・共同性》の3観点における評価を行ない、点数化し、評定算出の基本資料とする。

### 【点数化が難しい科目や課題について】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの……………100%
- B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの…… 80%
- C：「努力を要する」状況と判断されるもの…………… 60%
- D：未提出、未実施…………… 0%

## 2. 学習計画及び評価方法等

※教育的効果を考え、事前に生徒に説明した上、扱う教材・内容を変更することもある。

	単元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
1 学期 中間 考 査 ま で	①「支え合う社会」 ②陣内秀信『近代都市のレトリック』 ③恩田陸『夜のピクニック』 ④多木浩二『都市の政治学』／満園勇『商店街はいま必要か』 ④漢字テスト5回	① 書いてあることを正確に読み取るようにする。 ② 都市と自然との関係についての日欧比較を通して、二項対立的な記述法・読解法を学ぶ。 ③ 現代社会における諸問題について自覚的になる。問題に対するアプローチの方法を学ぶ。 ④ 指定された学習範囲について、計画性をもって自らの力で取り組み、正確な知識を身に付ける。	明治論国709) 『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』Z会 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500 三訂版』いっずな書店 『現代文単語 改訂版』いっずな書店
1 学期 期 末 考 査 ま で	①長嶋修『「空き家」が蝕む日本』 ②柏木博『視覚の生命力』 ③漢字テスト4回	① データを用いた論理展開に慣れ、内容を正確に読み取る。 ② 難易度の高い文章を読み、入試問題の読解に対応できる力を養う。 ③ 指定された範囲の学習を計画性をもって自らの力で取り組み、正確な知識を身に付ける。	『精選 論理国語』明治書院（117明治論国709） 『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』Z会 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500 三訂版』いっずな書店 『現代文単語 改訂版』いっずな書店
2 学期 中 間 考 査 ま で	①入試問題演習 ②漢字テスト4回	① 基礎レベルの大学入試過去問題（国公立・私立大学）を制限時間内に解き、内容把握や記述の訓練を行なう。 共通テスト予想問題（論理・実用／文学）を制限時間内に解き、図表を含む資料の読解や複数テキストを比較検討する力を養う。 ② 大学入試過去問題・頻出問題に定期的に触れ、語彙知識を確かなものとする。	①『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』 プリント教材
2 学期 期 末 考 査 ま で	①入試問題演習 ②漢字テスト5回	①標準レベルの大学入試過去問題（国公立・私立大学）を制限時間内に解き、内容把握や記述の訓練を行なう。 共通テスト予想問題（論理・実用／文学）を制限時間内に解き、図表を含む資料の読解や複数テキストを比較検討する力を養う。 ②大学入試過去問題・頻出問題に定期的に触れ、語彙知識を確かなものとする。	①『共通テスト分野別対策ベーシックマスター国語 現代文 改訂第3版』 プリント教材 『入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500 三訂版』いっずな書店

3 学 期 期 末 考 査 ま で	自宅学習	自宅学習	自宅学習
---	------	------	------

<p><b>【成績評価の概要について】</b></p> <p>(1) 学期における評価の対象</p> <p>① 中間考査：100点（知識・技能や、思考力・表現力の評価）  ② 期末考査：100点（知識・技能や、思考力・表現力の評価）  ③ 平常点（漢字小テスト、提出課題、自主課題等）：50点（関心・意欲・態度などの評価）</p> <p>(2) 学期評定の算出方法</p> <p>定期考査の素点合計200点に対し、平常点合計は50点とし(素点：平常点＝8：2)、多面的評価を行う。</p> <p>(3) 年度末評定の算出方法</p> <p>定期考査の素点合計400点（1, 2学期分）に対し、平常点合計は100点（1, 2学期分）とし(素点：平常点＝8：2)、多面的評価を行う。（2学期評定も同様）</p>
---

上記の内容は、生徒の状況により、より学習効果が期待できると判断した場合は、事前説明を行なった上で変更する場合もあり得る。